

行政書士による

無料相談会



高齢や病気が原因で、身の周りのことや財産のことなどの判断が適切に行えなくなることがあります。

自分自身の、そして大切なご家族の将来に備えるため、気になる“こと”を相談してみませんか！

～成年後見・遺言・相続等～

<開催日時および場所>

○ 令和5年12月14日(木)

仙石原文化センター 2階会議室

時間 14:00～16:00 (最終受付は 15:30)

次回は…令和6年3月26日(火) 14:00～16:00

箱根町役場本庁舎第1～第3会議室にて開催予定

※ ご相談は事前予約をお願いしております。

お問い合わせ・事前予約は…

箱根町地域包括支援センター 85-3002まで



箱根町地域包括支援センター

一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター 神奈川県支部小田原西地区

行政書士による無料相談会では…

～成年後見制度～

自分自身で判断することが難しい方について、家庭裁判所によって選ばれた成年後見人等が、財産の管理や福祉サービス等の契約を行い、ご本人の権利を守り生活を支援してくれる制度です。無料相談会では成年後見利用までの流れや家庭裁判所の申し立てに必要な書類や手続きについての相談ができます。

～遺言・相続～

自分の遺産をどのように使い、子孫たちにどうやって分配するかなど、将来争いが無いように不備なく遺言を作るための相談ができます。

～その他～

行政書士は『街の法律家』として官公署（役所・役場）・契約書等の書類作成や一般法律相談など、身近な書類手続きについてもいろいろな視点からアドバイスを行ってくれます。

まずは下記までお問い合わせ・ご予約下さい

箱根町地域包括支援センター 85-3002

みんなで楽しむ！ クリスマスコンサート

～みんなで楽しむ！！クリスマスコンサートって？～

**どんな人でも参加できる
心のバリアフリーコンサートです♪**

今回は、日ごろ箱根町で活躍する障がい福祉をはじめとした福祉関係団体の皆さんが楽しいクリスマスコンサートを開催します。当日は、子どもたちへサンタさんからのプレゼントも・・・？ お子さんから高齢者の方、どなたでも参加お待ちしております😊

～ どんな方でも誰とでも、一緒にクリスマスを楽しみましょう ～

日時： **12月22日(金)**



午後**3時00分**～**4時30分** (受付 2:45～)

場所： 仙石原文化センター ホール

参加無料

どなたでも参加可能です！ **申し込みフォームよりお申込みください**



※ お子様をはじめ、障がいのある方やそのご家族、高齢者の方など沢山の方の参加お待ちしております♪

※ お子様だけの参加の場合は必ず保護者の方の同意の上ご参加ください

(福)箱根町社会福祉協議会 TEL0460-85-9000

〒250-0311 足柄下郡箱根町湯本 855 ※裏面もご覧ください

参加者団体紹介

(社福) 宝安寺社会事業部

ほうあん第一しおん

ほうあん第一しおんは、小田原市根府川にある福祉施設です。普段は請負作業を中心に作業しており、製パン部門では地域の皆様に販売しています。また、平行し余暇支援を行なっている事業所です。よろしくお祈いします

小田原短期大学

「おだたん」は栄養士や保育者を目指す学生さんが集まる伝統ある学校です。

当日は、保育者のたまご達が歌や楽器の演奏を披露します♪

箱根町地域活動支援センター

レインボー

さくら館内で活動をしている地域活動支援センターレインボーです🌈レインボーには～それぞれの個性が輝くように～との思いが込められています。様々な障がいをかかえたご利用者が活動を通じて社会参加や交流を図りながら日々活動しています。現在、クリスマスコンサートに向けてみんなで練習しています！当日はちょっとほっこりする音楽を聴きに來てください♪

<注意事項・お祈い>

- ・当日は感染症対策のため、体調がすぐれない場合はご來場はお控えください
- ・当日の状況によっては、開催時間が短くなる可能性がありますので予めご了承下さい。

共催：(福) 宝安寺社会事業部 ほうあん第一しおん
小田原短期大学
(福) 箱根町社会福祉協議会

フレスポセンター？も用意してお待ちしています😊

当日はその他たくさんイベントや



宮城野げんきつこたより 11月号



秋の火災予防週間が始まります。消火活動も行いました。「火遊びはしません。」声を揃えて誓いました。

令和5年11月8日発行

箱根教育 合言葉

箱根を愛し かしく やさしく たくましく

秋になり、行事のありがたさを感じる日々が続いています。親子で運動遊び、箱根めぐり、4園集まって音楽を楽しむ会、防火指導、文化祭作品展、歯科保健指導等子どもたちは体験を通して学んでいます。行事の捉えは日常に変化と潤いを与えるもの。子どもが主体となって行事が遊びのつながりだったり遊びに生かすものだったりしているかどうか、私たち保育者は日々考え、環境を整えていっています。お子さんからの声はどうでしょう。ご家庭で感じたことをお話していますか。子どもの心に寄り添い、ありのままの気持ちをぜひ聞いてほしいです。聞いてもらえる喜びも合わせて感じてほしいです。大好きなお家の方の理解が次の活動の力となります。これから色々な行事と一緒に楽しめるようにご協力お願いいたします。



地域を知る～箱根めぐり～

4歳児は大涌谷ジオパークも行き、3.4.5歳児はそれぞれの年齢に合った行程を楽しみました。子どもたちの大好きな海賊船・ロープウェイ・ケーブルカー・箱根登山電車・バスと乗り物を贅沢に利用しながら、箱根をグルグル回ってきました。特に大涌谷は園庭から見えるところです。ロープウェイから下に見えるポコポコと硫黄の匂いもしながら煙が出ているところは迫力がありません。子どもたちはしっかりと箱根を肌で実感してきました。秋の行楽シーズンということもあり、沢山の観光客が箱根を訪れ、楽しそうな姿を見て子どもたちは何かを感じているようでした。自分たちの住んでいる箱根の魅力を語れる子になるためにはまず自分が知って、誇りに思うことだと思います。今回の箱根めぐりでご協力頂いた、ゆり組の野地様・山木様ありがとうございました！



🎃ハロウィンパーティー

ホールでカボチャの御馳走をいただきました。トリックアトリートの呪文で魔女からお菓子ももらい、怖い魔女がさくら組の奥から登場すると呪文も忘れて一目散に逃げていく子どもたちでした。「あれは〇〇先生だよ」と互いに確認し合いホッとしている姿が可愛らしかったです。



4園連絡協議会

箱根の森小学校体育館をお借りして保護者会によるリズム音楽会を行いました。素敵な音楽の歌声と色々な楽器の音色に癒されました。今回の企画運営は宮城野保育園の保護者会の役員の皆様が中心となり、箱根、湯本、仙石原の保護者の方も一緒に子どもたちのために集まってくださいました。ありがとうございました。



歯科保健指導

3.4.5歳児は自分の歯を手鏡で確認しながら、歯ブラシを歯に上手に当て歯磨きを真剣に行いました。保護者の方の仕上げ歯磨きが大事な時期です。歯科衛生士さんのお話しでは、乳児の歯を虫歯のまま放置しておく、永久歯が下から生えてきたときにすでに歯根から虫歯菌に侵されていて永久歯も虫歯になるということでした。毎日の歯ブラシを大事にしたいですね。



芸術の秋・文化祭(社会教育センター10.11.12日開催)

今年の宮城野保育園の年長児は、「危険生物がいる森を探検しているところ」という世界で表現活動を楽しみました。自分の顔を鏡でじっくり見て丁寧に描き、頭の中にあるイメージを形にする時間はとても楽しそうでした。まさしく芸術の秋到来ですね！





箱根町在住・在勤・在学の方限定 ポーラ美術館「無料ご招待」 2023.12.18 (月) - 12.31 (日)

ポーラ美術館はおかげさまをもちまして、開館から22年目を迎えることができました。日頃の感謝の気持ちをこめて、上記期間限定で、箱根町に在住及び在勤、在学の皆さまのご入館を無料とさせていただきます。この機会にぜひご来館ください。尚、中学生以下の方は、いつでも無料でご入館いただけます。

ご覧いただける展覧会 2023.12.18 (月) より

モダン・タイムズ・イン・パリ 1925

機械時代の
アートとデザイン
Art and Design in
the Machine-age

MODERN TIMES in PARIS 1925

ご来館時に、箱根在住・在勤・在学を証明できるものを必ずご提示ください。

※免許証、保険証、社員証、学生証、名刺など

確認ができない場合は通常料金とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

箱根町在住・在勤・在学の方のみの適用とさせていただきます。

お車でご来館の場合は駐車料金が500円かかります。

X Instagram Facebook #ポーラ美術館 #polamuseumofart

モダン・タイムス・イ

2023.12.16 FRI - 2024.5.19 SUN

機械時代の
アートとデザイン
Art and Design
in the Machine-age

FOODERATI
TIMES



開館時間 | 9:00-17:00(入館は16:30まで) 会期中無休
主催 | 公益財団法人ポーラ美術振興財団 ポーラ美術館 後援 | 在日フランス大使館 / アンスティチュ・フランセ
Opening Hours | 9:00-17:00 (Last admission 16:30) Open Daily Organizer | Pola Museum of Art, Pola Art Foundation
Supported by Ambassade de France au Japon / Institut français du Japon

ポーラ美術館 www.polamuseum.or.jp

〒250-0631 神奈川県足柄下郡箱根町仙石原小塚山1285 TEL:0460-84-2111(代表)
1285 Kozukayama, Sengokuhara, Hakone-machi, Ashigarashimo-gun, Kanagawa 250-0631

POLA MUSEUM
OF ART
POLA MUSEUM
OF ART

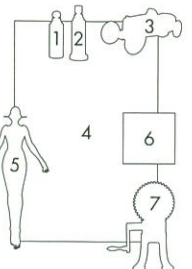
PARIS 1925



ラウル・デュフィ《パリ》
1937年、ポーラ美術館
Raoul Dufy, Paris, 1937, Pola Museum of Art

[表面] 1.ルネ・ラリック《香水瓶「ジュルヴィアン」》(ウォルト社)1929年12月2日原型制作、ポーラ美術館 2.マルク・ラリック《香水瓶「ジュルヴィアン」》(ウォルト社)1952年以降、ポーラ美術館 3.《ブガッティ タイプ52(ベイビー)》1920年代後半-1930年代前半、トヨタ博物館 4.フェルナン・レジェ《鏡を持つ女性》1920年、ポーラ美術館 5.空山基《Sexy Robot_Floating》2019年、Courtesy of NANZUKA 6.ラウル・デュフィ《パリ》1937年、ポーラ美術館 7.《ウォーム 歯車機構》東京大学総合博物館(インターメディアテック)

[Cover] 1.René Lalique, Perfume Bottles "Je Reviens", Worth, Model executed on December 2, 1929, Pola Museum of Art 2.Marc Lalique, "Perfume Bottle "Je Reviens", Worth, Model executed after 1952, Pola Museum of Art 3.Bugatti Type 52 (Baby), late 1920s-Early 1930s, Toyota Automobile Museum 4.Fernand Léger, Woman at the Mirror, 1920, Pola Museum of Art 5.Hajime Sarayama, Sexy Robot_Floating, 2019, Courtesy of NANZUKA 6.Raoul Dufy, Paris, 1937, Pola Museum of Art 7.Warm Wheel Mechanism, The University Museum, The University of Tokyo (IntermediaTeque)



ポーラ美術館公式 SNSアカウント POLA MUSEUM OF ART
ポーラ美術館

モダン・タイムス

イン・パリ 1925

機械時代のアートとデザイン Art and Design in the Machine-age

1920年代を迎えたフランスの首都パリでは、第一次世界大戦からの復興によって急速に工業化が進み、「機械時代」と呼ばれる華やかでダイナミックな時代を迎えました。本展覧会は、1920-1930年代のパリを中心に、ヨーロッパやアメリカ、日本における機械と人間との関係をめぐる様相を紹介し、特にパリ現代産業芸術国際博覧会(アール・デコ博)が開催された1925年は、変容する価値観の分水嶺となり、工業生産品と調和する幾何学的な「アール・デコ」様式の流行が絶頂を迎えました。日本では1923年(大正12)に起きた関東大震災以降、急速に「モダン」な都市へと再構築が進むなど、戦間期という繁栄と閉塞の狭間に、機械や合理性をめぐる人々の価値観は大きく変化していきました。

コンピューターやインターネットが高度に発達し、AI(人工知能)が生活を大きく変えようとする現在において、約100年前の機械と人間との関係は、私たちが未来をどのように生きるかを問いかけてくるでしょう。



キスリング《ファルコネッティ嬢》
1927年、ポーラ美術館
Kisling, Mille Falconetti, 1927, Pola Museum of Art



杉浦非水《東洋唯一の地下鉄道 上野浅草間開通》
1927年(昭和2) 愛知県美術館 展示期間: 2023年12月16日 - 2024年3月1日
Shinozaki Naoki, The Only Subway in the East Service between Ueno and Asakusa is Started, 1927, The Museum of Art, Ethine Display Period: Dec. 16, 2023-Mar. 1, 2024

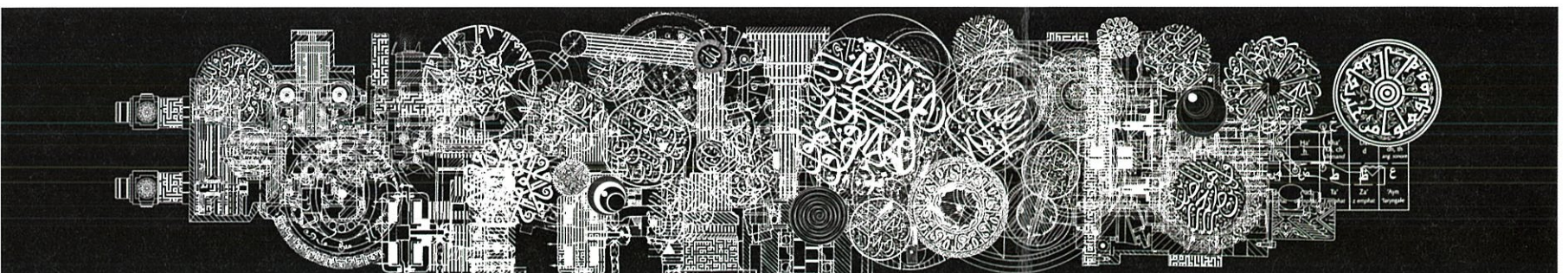


古賀春江《現実線を切る主智的表情》
1931年(昭和6)、株式会社西日本新聞社(福岡市美術館寄託)
Koga Harue, Intellectual Expression Traversing a Real Line, 1931, The Nishinippon Shimbus Co., Ltd. (Deposited in Fukuoka Art Museum)

ルネ・ラリック
《泉の精 ガラテ》
1924年、箱根ラリック美術館
René Lalique, Galatea, 1924, Lalique Museum, Hakone



フェルナン・レジェ《サンバ》
1933年、ヤマザキマスカット美術館
Fernand Léger, Cenna, 1933, The Yamazaki Masakazu Museum of Art

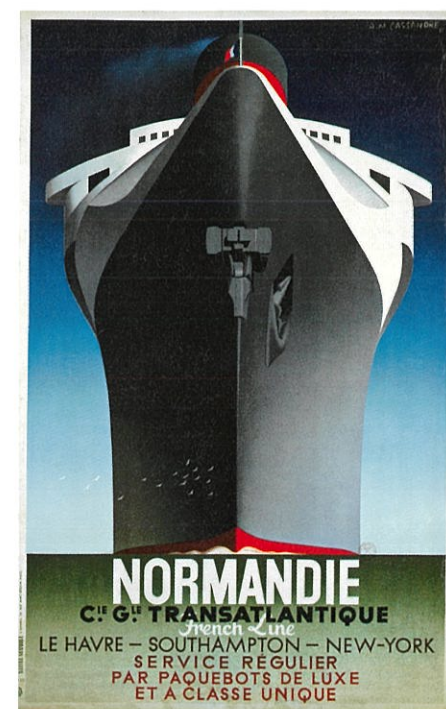
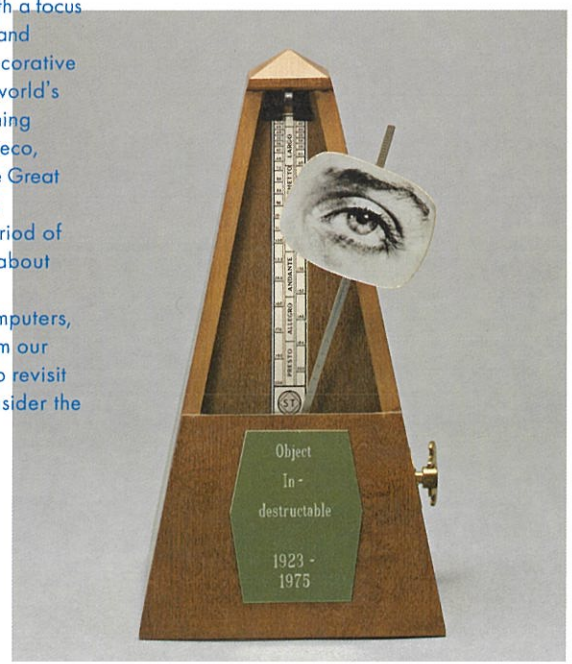


ムニール・ファトゥミ
《モダン・タイムス、ある機械の歴史》
2010年、Courtesy of the artist and Art Front Gallery, Tokyo
Mounir Fatmi, Modern Times, a History of the Machine, 2010
Courtesy of the artist and Art Front Gallery, Tokyo Photo credit: ©mounir fatmi

AI時代の始まりに、 機械と人間の関係を問いかける——

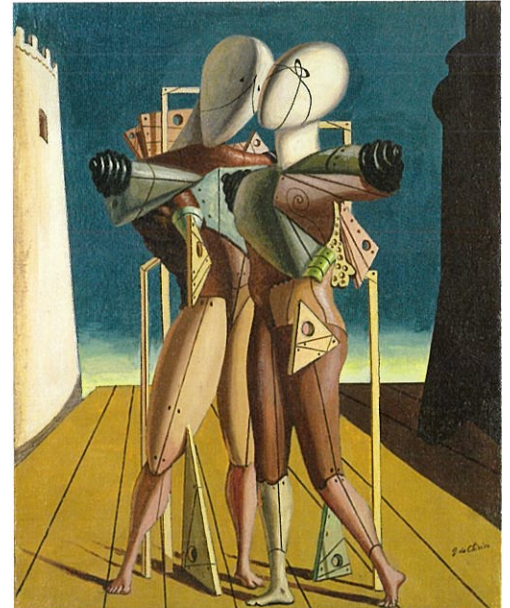
In the 1920s, Paris underwent rapid industrialization in an effort to reconstruct the French capital in the wake of the First World War, ushering in a flourishing and dynamic era known as the Machine Age. This exhibition examines various aspects of the relationship between machines and people in the 1920s and '30s with a focus on Paris as well as other parts of Europe, the U.S., and Japan. The International Exhibition of Modern Decorative and Industrial Arts (the Art Deco Exhibition), a world's fair held in Paris in 1925, was an important turning point in changing attitudes, as it heralded Art Deco, a geometric style inspired by machines. After the Great Kanto Earthquake, which occurred in 1923, Japan underwent rapid modernization. In the brief period of prosperity between the two world wars, ideas about machines and rationality changed drastically. With great technological advances such as computers, the Internet, and AI, which promises to transform our lives even further, this is perhaps a good time to revisit the art and design of 100 years ago and reconsider the connection between machines and humans.

マン・レイ《破壊されないオブジェ》
1923/1975年、東京富士美術館
Man Ray, Indestructible Object, 1923/1975, Tokyo Fuji Art Museum
©東京富士美術館イメージアーカイブ/DNPartcom
©MAN RAY 2015 TRUST/
ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2023 B0651



アドルフ・ムーロン・カッサンドル
《ノルマンディ号》
1935年、京都工芸繊維大学美術工芸資料館[AN.4739]
Adolphe Mouron Cassandre, Normandie, 1935, Museum and Archives, Kyoto Institute of Technology [AN.4739]
©www.cassandre.fr APPROVAL
by the ESTATE OF A.M. CASSANDRE / JASPAR 2023 B0651

ジョルジョ・デ・キリコ
《ヘクトールとアンドロマケー》
1930年頃、ポーラ美術館
Giorgio de Chirico, Hector and Andromache, ca.1930, Pola Museum of Art
©SIAE, Roma & JASPAR, Tokyo, 2023 B0651



MODERN TIMES

in PARIS 1925

【関連プログラム | RELATED PROGRAMS】

詳細は展覧会ウェブサイトをご覧ください
See the exhibition website for more information.



【同時開催 | ALSO ON VIEW】

- ポーラ美術館コレクション選 2023年12月13日(水) - 2024年5月19日(日)
- HIRAKU Project Vol.15 大西康明 2023年12月16日(土) - 2024年5月19日(日)
- Masterpieces of the Pola Museum of Art Wed., December 13, 2023 - Sun., May 19, 2024
- HIRAKU Project Vol.15 Yasuaki Onishi Sat., December 16, 2023 - Sun., May 19, 2024

【入館料 | ADMISSION】

大人: 1,800円、シニア割引(65歳以上): 1,600円(他の割引との併用不可)
大学・高校生: 1,300円、中学生以下: 無料 ※団体15名様以上割引
Adults: ¥1,800 Seniors (over 65): ¥1,600
University / High school students: ¥1,300 Junior high school students or younger: Free

【交通案内 | ACCESS】

- 「小田原駅」より箱根登山線乗車。「箱根湯本駅」乗り換えて「強羅駅」下車後、観光施設めぐりバスにて13分「ポーラ美術館」下車
- 「小田原駅」「箱根湯本駅」より当館直通バス運行中
- From Gora Station (Hakone Tozan Railway), use Sightseeing Shuttle Bus and get off at Pola Museum of Art (13 minutes).
- Through bus from Odawara Station or Hakone-Yumoto Station: See the website for more information.

